



協力してカレーライスづくり

中学生が参加する日野郡地区学習会交流会が、8月7日、日南町人権センターを会場に開かれ、日野町からは7人の生徒が参加しました。

日南町人権センター館長の原さんから、日南町の被差別部落の子どもたちを学校に通わせるために尽力した出井富五郎さんや田中儀太郎さんの功績についての話を聞き、その後、会場周辺の現地研修をしました。

学習会の取り組みについて学校ごとに発表し、2班に分かれて自慢の味のカレーライスを作りました。生徒だけで

## ★日野郡の中学生が交流



打ち解けあった生徒は楽しく遊ぶ

作るカレーは疑心暗鬼と腕自慢の出どころ。戸惑うこともありました。最後にはすっかり打ち解けて親しくなり、地区学習会で学ぶ生徒同士との交流と親睦が深まりました。

《生徒の感想》

- ・ 学校の生徒との交流が楽しかった。
- ・ 石碑（故田中儀太郎氏顕徳碑）のことがいろいろ分かって勉強になった。
- ・ 始めはぎこちなかったけど、最後には仲良くなれて良かった。

### 【隣保館学習講座】 生け花教室生徒募集

毎月第3土曜日午後1時30分から下榎集会所で生け花教室を開催しています。

四季折々の可憐な花で“ホッ”と一息つきませんか。先生の丁寧な指導のもと、とても和やかな教室です。初心者の方大歓迎です。お気軽にお問合せください。



生け花で四季を感じませんか

小学生の交流を深めようと、日南小学校から4人の児童を迎え、8月10日、下榎集会所で奥日野交流会を開きました。

まず、各学校の学習会の取り組みについて発表。その後、昼食のカレー作りに取りかかりました。玉ネギ切りに苦戦し、ゴーグルをつけて玉ネギを切る姿に笑いが起きました。

午後はお待ちかねの「ラフティング（ゴムボートの川下り）」です。D.Oスポーツの皆さんにご指導いただきました。水量が少なく、少し苦戦した場所もありましたが、それでも全員がダイビング！。時間の経つのを忘れて喜びの歓声があがりました。

## ★日野・日南の小学生が日野川で交流



日野川へ飛び込む小学生

目標を共有し、達成できたことで、夏の良い思い出仲間としての交流が深まりました。D.Oスポーツの皆さん、本当にありがとうございました。

1年に1回の交流会ですが、郡の水泳、陸上などの大会でまた出会います。この出合いを大切に、さまざまな場面で交流を深めていって欲しいと思います。

### 10月の 行事 予定

★セラバンド体操 日時：10月10日（水）10：00～（老人憩の家） 指導：高橋伸也さん  
★生け花（草月流） 日時：10月20日（土）13：30～（下榎集会所） 講師：生田清子さん  
★クレイフラワー 日程調整中です。お楽しみに。 講師：妹尾仁津美さん  
※学習講座はどなたでも参加できます。気軽に下榎集会所（電話72-1191）までお電話を。

# 人権啓発講演会および第37回町人権・同和教育研究集会

『人権尊重のまちづくりをしよう』を合言葉に、10月19日（金）午後1時から午後5時まで町文化センターで、講演会とシンポジウムを開きます。皆さん、どうぞお誘い合わせてお越しください。

**人権講演会** 演題＝『みんなちがって、みんないい。－金子みすゞさんのうれしいまなざし－』  
 13:20～14:50 講師＝ 矢崎 節夫さん（金子みすゞ記念館 館長）

人は往々にして、何事も「自分中心」にとらえがちです。他者や周りのすべてによって自分が存在し、生かされていることに気づきにくいものです。

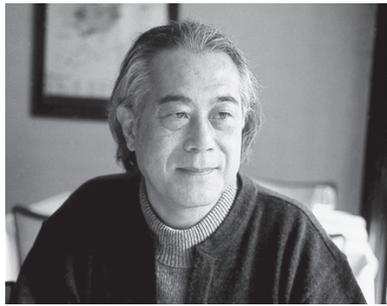
今回の講演では「私とあなた」の関係から、「あなたと私」の視点で見つめることで、他者

との関係や暮らし方について考えていただきます。ひいては立場や状態、状況の違いがあっても、誰もがかけがえのない大切な社会の構成員だとの人権の視点で考えていただきます。

今は亡き金子みすゞさんの優しい心に触れてみましょう。

**金子みすゞ記念館 館長**

やざき せつお  
**矢崎 節雄さん**



昭和22年東京生まれ。早稲田大学英文学科卒業。在学中から童謡・童話の世界を志し、童謡詩人の佐藤義美、まど・みちおに師事。昭和57年、童話集「ほしとそらのしたで」で第12回赤い鳥文学賞を受賞。また、学生時代に出会った童謡詩人金子みすゞさんの一遍の詩に衝撃を受け、作品を探し続け16年の後、埋もれていた遺稿を見つけ「金子みすゞ全集」として出版。特に、長年の努力の集積として執筆した「童謡詩人金子みすゞの生涯」では、平成5年に日本児童文学学会賞を受賞。近年は、全国各地で講演活動を行い、金子みすゞの魅力を多くの人に伝えている。平成15年4月から金子みすゞ記念館（山口県長門市先崎）初代館長に就任。

○矢崎さんからのメッセージ

20世紀、私たちはもしかすると「私とあなた」というまなざしで駆け抜けてきたのかもしれない。自分中心、人間中心のまなざしで。生かされていることの喜び、この世のすべてと共に生きる喜びは、「私とあなた」から「あなたと私」というまなざしに変わることなく、出会うことはできないでしょう。みすゞさんの詩を通して、まなざしを変える喜びに出会ってくださると嬉しいです。

**研究集会**  
 15:00～16:50

【テーマ】

さまざまな地域課題から、人権尊重社会の仕組みを考えよう  
 ～助け上手、助けられ上手になろう～

すべての人はどんな状況や状態、立場であっても大切にされ、認められ、保護され、参加し、自立し、自己実現を目指して暮らすことができます。

そのようなお互いを尊重する心で築く助け上

手、助けられ上手な地域社会が私たちの願いです。

今回は、暮らしの中の課題や取り組み報告などを受けながら、話し合っていたいただきたいと思います。

**問合せ**

詳しい内容、参加申込みなどは、  
 町人権センター（電話 72 - 2107）までお電話ください。

9月は「心身障害者雇用促進月間」、「知的障害福祉月間」です

「障がい」のため社会参加や自立、尊厳などの面で苦しむ、さまざまな多くの人があります。すべての人は幸せに生きる権利をもっていますが、障がいを理由にそれが叶えられない現実もあります。健全な社会の発展には全ての人々を産業や文化を担う大切な一員として受け入れ、共に支えあって生きる社会の実現が必要です。

そのためには、私たちは「障がい」というさまざまな特性を理解するとともに、そのような人々が社会生活を営む上で何が「障がい」となっているのかを理解し、「人の壁」と「社会の壁」の解決に向けた努力が必要です。

この月間を機に私たち一人一人の課題として、そのかわりについて考えてみましょう。